

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

分野	検査項目	検体採取量	採取容器	生物学的基準範囲 および臨床判断値	追加検査が 可能な日数	検体受入 不可基準	備考
一般検査	【尿一般定性】						
	ウロビリノーゲン	10mL	(16)	(±)	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	潜血	10mL	(16)	(-)	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	蛋白	10mL	(16)	(-)	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	ブドウ糖	10mL	(16)	(-)	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	ケトン体	10mL	(16)	(-)	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	ビリルビン	10mL	(16)	(-)	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	亜硝酸塩	10mL	(16)	(-)	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	比重	10mL	(16)	1.005~1.030	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	白血球	10mL	(16)	(-)	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	pH	10mL	(16)	4.5~7.5 (pH)	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	【尿沈渣】						
	赤血球	20mL	(16)	0~4 (/HPF)	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	白血球	20mL	(16)	0~4 (/HPF)	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	【尿生化学】 (新鮮尿)						
	浸透圧	10mL	(16)	50~1300 (mOsm/kg・H ₂ O)	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

分野	検査項目	検体採取量	採取容器	生物学的基準範囲 および臨床判断値	追加検査が 可能な日数	検体受入 不可基準	備考	
一般検査	微量アルブミン	10mL	(16)	—	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可	
	蛋白	10mL	(16)	—	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可	
	糖	10mL	(16)	—	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可	
	尿素窒素	10mL	(16)	—	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可	
	クレアチニン	10mL	(16)	—	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可	
	尿酸	10mL	(16)	—	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可	
	Na	10mL	(16)	—	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可 10～250mmol/Lの範囲外の測定値は参考値	
	K	10mL	(16)	—	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可 1～100mmol/Lの範囲外の測定値は参考値	
	Cl	10mL	(16)	—	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可 10～250mmol/Lの範囲外の測定値は参考値	
	カルシウム	10mL	(16)	—	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可	
	無機リン	10mL	(16)	—	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可	
	マグネシウム	10mL	(16)	—	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可	
	アミラーゼ	10mL	(16)	—	4時間	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可	
	【尿生化学】 (蓄尿)							
	浸透圧	5mL以上	(13)	—	不可	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可	
微量アルブミン	5mL以上	(13)	30未満(mg/day)	不可	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可		

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

分野	検査項目	検体採取量	採取容器	生物学的基準範囲 および臨床判断値	追加検査が 可能な日数	検体受入 不可基準	備考
一般検査	蛋白	5mL以上	(13)	20~120(mg/day)	不可	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	糖	5mL以上	(13)	0.03~0.13 (g/day)	不可	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	尿素窒素	5mL以上	(13)	10~15(g/day)	不可	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	クレアチニン	5mL以上	(13)	0.5~1.5(g/day)	不可	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	尿酸	5mL以上	(13)	0.4~1.2(g/day)	不可	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	Na	5mL以上	(13)	—	不可	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可 10~250mmol/Lの範囲外の測定値は参考値
	K	5mL以上	(13)	—	不可	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可 1~100mmol/Lの範囲外の測定値は参考値
	Cl	5mL以上	(13)	—	不可	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可 10~250mmol/Lの範囲外の測定値は参考値
	カルシウム	5mL以上	(13)	—	不可	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	無機リン	5mL以上	(13)	—	不可	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	マグネシウム	5mL以上	(13)	—	不可	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	アミラーゼ	5mL以上	(13)	—	不可	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	【24時間クレアチニン・クリアランス】	5mL以上	(12)	70~130 (mL/min)	不可	糞便混入	生理中や造影剤使用中は基本検査不可
	【妊娠反応】	5mL以上	(16)	(-)	不可	なし	
	【便潜血反応】	拇指頭大	(15)	(-)	不可	なし	数値は参考値
【寄生虫】	拇指頭大	(18) (21)	(-)	不可	なし		

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

分野	検査項目	検体採取量	採取容器	生物学的基準範囲 および臨床判断値	追加検査が 可能な日数	検体受入 不可基準	備考
一般検査	【精液】						
	量	2mL以上	(18)	2.0以上 (mL)	不可	コンドームによる採取は禁	
	数	2mL以上	(18)	40以上 (10 ⁶ /mL)	不可	コンドームによる採取は禁	
	運動率	2mL以上	(18)	50以上 (%)	不可	コンドームによる採取は禁	
	奇形率	2mL以上	(18)	15以下 (%)	不可	コンドームによる採取は禁	
	【脳脊髄液】						
	比重	1mL	(17)	—	7日		
	糖	1mL	(17)	50~75mg/dL	7日		
	細胞数	1mL	(17)	5以下 (/μL)	7日	フィブリン析出	
	細胞種類	1mL	(17)	—	7日	フィブリン析出	
	LD	1mL	(17)	25U/L以下	7日		
	CL	1mL	(17)	115~125mmol/L	7日		
	蛋白	1mL	(17)	10~35 (mg/dL)	7日		
	【胸水】	5mL	(17)	—	7日	フィブリン析出	
	【腹水】	5mL	(17)	—	7日	フィブリン析出	
	【心嚢液】	5mL	(17)	—	7日	フィブリン析出	

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

分野	検査項目	検体採取量	採取容器	生物学的基準範囲 および臨床判断値	追加検査が 可能な日数	検体受入 不可基準	備考
一般検査	【関節液】	1mL	(17)	—	不可	フィブリン 析出	
	【インフルエンザ 抗原】	—	(14)	(-)	不可	なし	
	【小児血液ガス】	1mL	(30)	—	不可	凝血	即時搬送
	【血液ガス】						
	pH	1mL以上	(29)	7.350~7.450 (pH)	不可	凝血	即時搬送
	PaO ₂	1mL以上	(29)	80.0~100.0 (mmHg)	不可	凝血	即時搬送
	PaCO ₂	1mL以上	(29)	35.0~45.0 (mmHg)	不可	凝血	即時搬送
Hb	1mL以上	(29)	男性 13.7~16.8 女性 11.6~14.8 (g/dL)	不可	凝血	即時搬送	

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

分野	検査項目	検体採取量	採取容器	生物学的基準範囲 および臨床判断値	追加検査が 可能な日数	検体受入 不可基準	備考
生化学検査	総蛋白 (TP)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	6.6~8.1(g/dL)	7日	—	報告下限値：0.1
	アルブミン (ALB)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	4.1~5.1(g/dL)	7日	—	報告下限値：0.2
	アスパラギン酸アミノ トランスフェラーゼ (AST/GOT)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	13~30(U/L)	7日	溶血 (正誤差)	報告下限値：3
	アラニンアミノ トランスフェラーゼ (ALT/GPT)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	男性：10~42 女性：7~23 (U/L)	7日	—	報告下限値：3
	乳酸脱水素酵素 (LDH)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	124~222(U/L)	7日	溶血 (正誤差)	報告下限値：9
	アルカリホスファ ターゼ(ALP)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	106~322(U/L)	7日	—	報告下限値：4
	ガンマ-グルタミル トランスフェラーゼ (γ -GTP)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	男性：13~64 女性：9~32 (U/L)	7日	—	報告下限値：2
	コリンエステラーゼ (ChE)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	男性：240~486 女性：201~421 (U/L)	7日	—	報告下限値：7
	クレアチンキナーゼ (CK)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	男性：59~248 女性：41~153 (U/L)	7日	—	報告下限値：5
	アミラーゼ (AMY)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	44~132(U/L)	7日	—	報告下限値：5
	総ビリルビン (T-Bil)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	0.4~1.5(mg/dL)	7日	—	報告下限値：0.1
	直接ビリルビン (D-Bil)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	0.4以下(mg/dL)	7日	—	報告下限値：0.1
	間接ビリルビン (I-Bil)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	— (mg/dL)	—	—	計算項目 (T-Bil - D-Bil = I-Bil) 報告下限値：0.0
	尿素窒素 (BUN/UN)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	8~20(mg/dL)	7日	—	報告下限値：0.9
	クレアチニン (Cre)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	男性：0.65~1.07 女性：0.46~0.79 (mg/dL)	7日	—	報告下限値：0.04
尿酸 (UA)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	男性：3.7~7.8 女性：2.6~5.5 (mg/dL)	7日	—	報告下限値：0.2	

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

分野	検査項目	検体採取量	採取容器	生物学的基準範囲 および臨床判断値	追加検査が 可能な日数	検体受入 不可基準	備考
生化学検査	ナトリウム (Na)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	138~145 (mmol/L)	12時間	—	180mmol/L以上は参考値 報告下限値：80
	カリウム (K)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	3.6~4.8 (mmol/L)	12時間	溶血 (正誤差)	10mmol/L以上は参考値 報告下限値：1.0
	クロール (Cl)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	101~108 (mmol/L)	12時間	—	130mmol/L以上は参考値 報告下限値：60
	カルシウム (Ca)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	8.8~10.1 (mg/dL)	7日	—	報告下限値：0.1
	マグネシウム (Mg)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	1.8~2.3 (mg/dL)	7日	—	報告下限値：0.1
	無機リン (IP)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	2.7~4.6 (mg/dL)	7日	溶血 (正誤差)	報告下限値：0.1
	鉄 (Fe)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	40~188 (μ g/dL)	7日	溶血 (正誤差)	報告下限値：4
	不飽和鉄結合能 (UIBC)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	— (μ g/dL)	7日	溶血 (正誤差)	報告下限値：17
	総鉄結合能 (TIBC)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	男性253~365 女性246~410 (μ g/dL)	—	—	計算項目 (Fe + UIBC = TIBC) 報告下限値：21
	総コレステロール (TC)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	142~248 (mg/dL)	7日	—	報告下限値：2
	中性脂肪 (TG)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	男性：40~149 女性：30~149 (mg/dL) *基準範囲上限値は 臨床判断値	7日	—	報告下限値：3
	HDL-コレステロール (HDL-C)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	男性：40~90 女性：40~103 (mg/dL) *基準範囲下限値は 臨床判断値	7日	—	報告下限値：2
	LDL-コレステロール (LDL-C)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	65~139 (mg/dL) *基準範囲上限値は 臨床判断値	7日	—	報告下限値：1

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

分野	検査項目	検体採取量	採取容器	生物学的基準範囲 および臨床判断値	追加検査が 可能な日数	検体受入 不可基準	備考
生化学検査	C反応性蛋白定量 (CRP)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	0.14以下(mg/dL)	7日	—	報告下限値：0.02
	CK-MB	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	12以下(U/L) *臨床判断値	7日	—	報告下限値：2
	グリコアルブミン (GA)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	11~16(%)	7日	—	報告範囲：3.2~68.1
	亜鉛 (Zn)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	70~130(μ g/dL)	7日	—	報告下限値：8
	リパーゼ (LIP)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	13~49(U/L)	7日	—	報告下限値：2
	血清浸透圧	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	275~290 (mOsm/kg \cdot H ₂ O)	7日	—	報告範囲：4~2000
	免疫グロブリンG (IgG)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	861~1747(mg/dL)	7日	—	報告下限値：5
	免疫グロブリンA (IgA)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	93~393(mg/dL)	7日	—	報告下限値：6
	免疫グロブリンM (IgM)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	男性：33~183 女性：50~269 (mg/dL)	7日	—	報告下限値：5
	フェニトイン (PHT)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	10~20(μ g/mL) *臨床判断値	7日	—	報告下限値：0.9
	フェノバルビタール (PB)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	15~40(μ g/mL) *臨床判断値	7日	—	報告下限値：0.7
	カルバマゼピン (CBZ)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	4~12(μ g/mL) *臨床判断値	7日	—	報告下限値：0.7
	バルプロ酸 (VAP)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	50~100(μ g/mL) *臨床判断値	7日	—	報告下限値：12
	テオフィリン (THEO)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	10~20(μ g/mL) *臨床判断値	7日	—	報告下限値：0.6
	ジゴキシン (DIG)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	0.9~2.0(ng/mL) *臨床判断値	7日	—	報告下限値：0.17
バンコマイシン (VCM)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	10~20(μ g/mL) *臨床判断値	7日	—	報告下限値：1	

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

分野	検査項目	検体採取量	採取容器	生物学的基準範囲 および臨床判断値	追加検査が 可能な日数	検体受入 不可基準	備考
生化学検査	メトトレキサート (MTX)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	24時間後 10未満 48時間後 1未満 72時間後 0.1未満 ($\mu\text{mol/L}$) *臨床判断値	追加不可	—	測定3日前までに 生化学検査室へ要連絡 報告下限値：0.1
	アンモニア (NH_3)	血液 4.0mL	(7)	75以下($\mu\text{g/dL}$)	追加不可	—	採取後は即時搬送 (氷冷保存) 報告範囲：10~400
	総ビリルビン (新生児用)	毛細管に 半分以上	(11)	— (mg/dL)	追加不可	溶血 (負誤差)	報告範囲：0.1~30.0
	血糖 (GLU)	血液 2.0mL	(3)	73~110(mg/dL)	12時間	凝血	報告下限値：4
	糖負荷試験 および日内変動	血液 2.0mL	(3)	— (mg/dL)	追加不可	凝血	報告下限値：4
	ヘモグロビン A1c (HbA1c)	血液 2.0mL	(3)	4.9~6.0(%)	12時間	凝血	報告範囲：3.0~20.0
免疫検査	甲状腺刺激ホルモン (TSH)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	0.5~5($\mu\text{IU/mL}$)	7日	—	報告下限値：0.005
	遊離トリヨード サイロニン(FT_3)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	2.3~4.3(pg/mL)	7日	—	報告範囲 0.26~32.55
	遊離サイロキシン (FT_4)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	0.9~1.7(ng/dL)	7日	—	報告範囲 0.023~7.77
	前立腺特異抗原 (PSA)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	4以下(ng/mL)	7日	—	報告下限値：0.003
	ヒト絨毛性 ゴナドトロピン(HCG)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	3以下(mIU/mL)	7日	—	報告下限値：0.1
	癌胎児性抗原 (CEA)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	5以下(ng/mL)	7日	—	報告下限値：0.2
	α -フェトプロテイン (AFP)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	10以下(ng/mL)	7日	—	報告下限値：0.6
	CA19-9	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	37以下(U/mL)	7日	—	報告下限値：0.6
	CA125	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	35以下(U/mL)	7日	—	報告下限値：0.6
フェリチン	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	男性：40~465 女性：6~138 (ng/mL)	7日	—	報告下限値：0.5	

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

分野	検査項目	検体採取量	採取容器	生物学的基準範囲 および臨床判断値	追加検査が 可能な日数	検体受入 不可基準	備考
免疫検査	プロカルシトニン (PCT)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	0.05以下 (ng/mL)	7日	—	報告範囲 0.02~100.00
	ヒト脳性ナトリウム 利尿ペプチド前駆体 N末端フラグメント (NT-pBNP)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	125以下 (pg/mL)	7日	—	報告下限値 : 5
	梅毒血清反応定量 (梅毒RPR法)	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	1.0未満 (R.U.) * 臨床判断値	7日	—	1.0以上は陽性判定 報告下限値 : 0.2
	梅毒TP抗体	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	(-)	7日	—	数値は参考値
	HCV抗体	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	(-)	7日	—	数値は参考値
	HBs抗原	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	(-)	7日	—	数値は参考値
	HIV	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	(-)	7日	—	数値は参考値
	HBs抗体	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	10.0未満 (mIU/mL) * 臨床判断値	7日	—	10.0以上は陽性判定 報告下限値 : 9.9
	HBc抗体	血液 8.0mL	(1) (2) (26)	(-)	7日	—	数値は参考値

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

分野	検査項目	検体採取量	採取容器	生物学的基準範囲 および臨床判断値	追加検査が 可能な日数	検体受入 不可基準	備考
血液検査	白血球数 (WBC)	血液 2.0mL	(4) (27)	3.3~8.6($10^3/\mu\text{L}$)	8時間	凝血	
	赤血球数 (RBC)	血液 2.0mL	(4) (27)	男性435~555 女性386~492 ($10^4/\mu\text{L}$)	8時間	凝血	
	ヘモグロビン (HGB)	血液 2.0mL	(4) (27)	男性13.7~16.8 女性11.6~14.8 (g/dL)	8時間	凝血	
	ヘマトクリット (HCT)	血液 2.0mL	(4) (27)	男性40.7~50.1 女性35.1~44.4 (%)	8時間	凝血	
	平均赤血球容積 (MCV)	血液 2.0mL	(4) (27)	83.6~98.2(f1)	8時間	凝血	
	平均赤血球 ヘモグロビン量 (MCH)	血液 2.0mL	(4) (27)	27.5~33.2(pg)	8時間	凝血	
	平均赤血球 ヘモグロビン濃度 (MCHC)	血液 2.0mL	(4) (27)	31.7~35.3(g/dL)	8時間	凝血	
	血小板数 (PLT)	血液 2.0mL	(4) (27)	15.8~34.8 ($10^4/\mu\text{L}$)	8時間	凝血	
	赤血球分布幅CV (RDW)	血液 2.0mL	(4) (27)	12.2~14.8(%)	8時間	凝血	
	平均血小板容積 (MPV)	血液 2.0mL	(4) (27)	9.2~12.0(f1)	8時間	凝血	
	血小板分布幅 (PDW)	血液 2.0mL	(4) (27)	9.6~15.2(f1)	8時間	凝血	
	大型血小板比率 (P-LCR)	血液 2.0mL	(4) (27)	19.7~42.4(%)	8時間	凝血	
	赤芽球% (NRBC%)	血液 2.0mL	(4) (27)	(/100WBC)	8時間	凝血	
	網状赤血球数 (RET)	血液 2.0mL	(4) (27)	8.0~22.0(‰)	6時間	凝血	
	幼若血小板比率 (IPF)	血液 2.0mL	(4) (27)	1.0~4.8(%)	8時間	凝血	
網赤血球 ヘモグロビン (RET-He)	血液 2.0mL	(4) (27)	30.3~36.0(pg)	6時間	凝血		

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

分野	検査項目	検体採取量	採取容器	生物学的基準範囲 および臨床判断値	追加検査が 可能な日数	検体受入 不可基準	備考
血液検査	好中球数	血液 2.0mL	(4) (27)	1310.0~6060.0 (/μL)	4時間	凝血	
	好酸球数	血液 2.0mL	(4) (27)	20.0~460.0 (/μL)	4時間	凝血	
	ヘパリン採血血小板	血液 4.0mL	(7)	(10 ⁴ /μL)	—	凝血	採血後すぐに提出
	【血液像】目視法						
	芽球 (Blast)	血液 2.0mL	(4) (27)	(%)	4時間	凝血	
	前骨髄球 (Promyelo)	血液 2.0mL	(4) (27)	(%)	4時間	凝血	
	骨髄球 (Myelo)	血液 2.0mL	(4) (27)	(%)	4時間	凝血	
	後骨髄球 (Meta)	血液 2.0mL	(4) (27)	(%)	4時間	凝血	
	桿状核好中球 (Stab)	血液 2.0mL	(4) (27)	0.5~6.5(%)	4時間	凝血	
	分葉核好中球 (Seg)	血液 2.0mL	(4) (27)	38.0~74.0(%)	4時間	凝血	
	好酸球 (Eosino)	血液 2.0mL	(4) (27)	0.0~8.5(%)	4時間	凝血	
	好塩基球 (Baso)	血液 2.0mL	(4) (27)	0.0~2.5(%)	4時間	凝血	
	リンパ球 (Lympho)	血液 2.0mL	(4) (27)	16.5~49.5(%)	4時間	凝血	
	異型リンパ球 (Aty-Lympho)	血液 2.0mL	(4) (27)	(%)	4時間	凝血	
	単球 (Mono)	血液 2.0mL	(4) (27)	2.0~10.0(%)	4時間	凝血	
有核赤血球 (E・Blast)	血液 2.0mL	(4) (27)	(/100WBC)	4時間	凝血		

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

分野	検査項目	検体採取量	採取容器	生物学的基準範囲 および臨床判断値	追加検査が 可能な日数	検体受入 不可基準	備考
血液検査	【血液像】機械法						
	好中球 (NEUTRO%)	血液 2.0mL	(4) (27)	39.8~70.5(%)	4時間	凝血	
	リンパ球 (Lymph%)	血液 2.0mL	(4) (27)	23.1~49.9(%)	4時間	凝血	
	単球 (Mono%)	血液 2.0mL	(4) (27)	4.3~10.0(%)	4時間	凝血	
	好酸球 (Eosino%)	血液 2.0mL	(4) (27)	0.6~5.4(%)	4時間	凝血	
	好塩基球 (Baso%)	血液 2.0mL	(4) (27)	0.3~1.4(%)	4時間	凝血	
	【ALP染色】						
	陽性率	血液 2.0mL	(4)	60~100(%)	—	凝血	採血後すぐに提出
	NAP Score	血液 2.0mL	(4)	170~370	—	凝血	採血後すぐに提出
	【骨髓像】						
	芽球 (Blast)	骨髓液0.5mL	(4)	0.1~0.7(%)	—	—	
	前骨髓球 (N-Promyelo)	骨髓液0.5mL	(4)	1.9~4.7(%)	—	—	
	骨髓球 (N-Myelo)	骨髓液0.5mL	(4)	8.5~16.9(%)	—	—	
	後骨髓球 (N-Meta)	骨髓液0.5mL	(4)	7.1~24.7(%)	—	—	
	桿状核好中球 (N-Band)	骨髓液0.5mL	(4)	9.4~15.4(%)	—	—	
分葉核好中球 (N-Seg)	骨髓液0.5mL	(4)	3.8~11.0(%)	—	—		

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

分野	検査項目	検体採取量	採取容器	生物学的基準範囲 および臨床判断値	追加検査が 可能な日数	検体受入 不可基準	備考
血液検査	好酸性骨髓球 (E-Myelo)	骨髓液0.5mL	(4)	好酸球 1.1~5.2(%)	—	—	
	好酸性後骨髓球 (E-Meta)	骨髓液0.5mL	(4)		—	—	
	好酸球桿状核球 (E-Band)	骨髓液0.5mL	(4)		—	—	
	好酸球分葉核球 (E-Seg)	骨髓液0.5mL	(4)		—	—	
	好塩基球幼若細胞 (B-Imm)	骨髓液0.5mL	(4)	好塩基球 <0.1(%)	—	—	
	好塩基球 (B-Mature)	骨髓液0.5mL	(4)		—	—	
	前赤芽球 (Pro-Eb1)	骨髓液0.5mL	(4)	0.1~1.1(%)	—	—	
	塩基性巨赤芽球 (M-B-Eb1)	骨髓液0.5mL	(4)	(%)	—	—	
	多染性巨赤芽球 (M-P-Eb1)	骨髓液0.5mL	(4)	(%)	—	—	
	正染性巨赤芽球 (M-O-Eb1)	骨髓液0.5mL	(4)	(%)	—	—	
	塩基性赤芽球 (N-B-Eb1)	骨髓液0.5mL	(4)	0.4~2.4(%)	—	—	
	多染性赤芽球 (N-P-Eb1)	骨髓液0.5mL	(4)	13.1~30.1(%)	—	—	
	正染性赤芽球 (N-O-Eb1)	骨髓液0.5mL	(4)	0.3~3.7(%)	—	—	
	リンパ球 (Lympho)	骨髓液0.5mL	(4)	8.6~23.8(%)	—	—	
	異型リンパ球 (A-Lympho)	骨髓液0.5mL	(4)	(%)	—	—	
前単球 (Pro Mono)	骨髓液0.5mL	(4)	(%)	—	—		

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

分野	検査項目	検体採取量	採取容器	生物学的基準範囲 および臨床判断値	追加検査が 可能な日数	検体受入 不可基準	備考
血液検査	単球 (Mono)	骨髄液0.5mL	(4)	0~0.6(%)	—	—	
	形質細胞 (Plasma)	骨髄液0.5mL	(4)	0~3.5(%)	—	—	
	マクロファージ (Phagocyto)	骨髄液0.5mL	(4)	0~0.8(%)	—	—	
	肥満細胞 (Mast cell)	骨髄液0.5mL	(4)	(%)	—	—	
	核分裂像 (Mitosis)	骨髄液0.5mL	(4)	(%)	—	—	
	Other-I	骨髄液0.5mL	(4)	(%)	—	—	
	Other-II	骨髄液0.5mL	(4)	(%)	—	—	
	M/E比	骨髄液0.5mL	(4)	1.1~3.5	—	—	
	有核細胞数	骨髄液0.5mL	(4)	10.0~25.0 (10 ⁴ /μL)	—	—	
	巨核球数	骨髄液0.5mL	(4)	50~150(/μL)	—	—	
	ペルオキシターゼ 染色	骨髄液0.5mL	(4)	—	—	—	別紙報告
	エステラーゼ染色	骨髄液0.5mL	(4)	—	当日	—	別紙報告
	PAS染色	骨髄液0.5mL	(4)	—	当日	—	別紙報告
鉄染色	骨髄液0.5mL	(4)	—	当日	—	別紙報告	

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

分野	検査項目	検体採取量	採取容器	生物学的基準範囲 および臨床判断値	追加検査が 可能な日数	検体受入 不可基準	備考
血液検査	【凝固】						
	プロトロンビン時間 (PT 秒数)	血液 2.7mL	(5) (28)	10.5~12.2(秒)	4時間	凝血 採血量不足	報告範囲 80.0秒以下
	プロトロンビン活性 (PT%)	血液 2.7mL	(5) (28)	82.7~117.7(%)	4時間	凝血 採血量不足	報告範囲 5.0%以上
	PT INR	血液 2.7mL	(5) (28)	0.91~1.08	4時間	凝血 採血量不足	報告範囲 6.00以下
	活性化部分トロンボ プラスチン時間 (APTT)	血液 2.7mL	(5) (28)	26.9~38.1(秒)	4時間	凝血 採血量不足	報告範囲 23.0~200.0秒
	フィブリノーゲン (FIB)	血液 2.7mL	(5) (28)	181~378(mg/dL)	4時間	凝血 採血量不足	報告範囲 25~1600mg/dL
	フィブリノーゲン・ フィブリン分解産物 (FDP)	血液 2.7mL	(5) (28)	5.0以下(μg/mL)	当日	凝血 採血量不足	報告範囲 2.5~960.0μg/mL
	Dダイマー (DD)	血液 2.7mL	(5) (28)	1.0以下(μg/mL)	当日	凝血 採血量不足	報告範囲 0.5~800.0μg/mL
	アンチトロンビンⅢ (ATⅢ)	血液 2.7mL	(5) (28)	75.0~125.0(%)	6時間	凝血 採血量不足	報告範囲 3.7~140.0%
	【クロスキシング試験】						
	P:N= 0:10 P:N= 1:9 P:N= 2:8 P:N= 5:5 P:N=10:0	血液 2.7mL 2本	(5) 2本	(秒)	—	凝血 採血量不足	採血後すぐに提出 P:患者血漿 N:正常血漿
	P:N= 0:10 2h後 P:N= 5:5 2h後 P:N=10:0 2h後	血液 2.7mL 2本	(5) 2本	(秒)	—	凝血 採血量不足	採血後すぐに提出 P:患者血漿 N:正常血漿
	【出血時間】						
	出血時間	—	—	1.0~5.0(分)	—	—	

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

分野	検査項目	検体採取量	採取容器	生物学的基準範囲 および臨床判断値	追加検査が 可能な日数	検体受入 不可基準	備考
血液検査	【赤血球沈降速度】						
	赤沈1時間値	血液 1.1mL	(6)	男性2~10(mm) 女性3~15(mm)	—	凝血 採血量不足 採血量過多	
	赤沈2時間値	血液 1.1mL	(6)	(mm)	—	凝血 採血量不足 採血量過多	
	【マラリア】						
	マラリア簡易法T1	血液 2.0mL	(4)	—	当日	—	研究用試薬による 定性検査
	マラリア簡易法T2	血液 2.0mL	(4)	—	当日	—	研究用試薬による 定性検査
	マラリア鏡検法	血液 2.0mL	(4)	—	4時間	—	
	【デング熱】						
	デング熱NS1抗原	血液 2.0mL	(4)	—	当日	—	
	抗デング抗体IgM	血液 2.0mL	(4)	—	当日	—	
抗デング抗体IgG	血液 2.0mL	(4)	—	当日	—		

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

検査項目	検体採取量	採取容器	生物学的基準範囲 および臨床判断値	追加検査が 可能な日数	検体受入 不可基準	備考
血液型検査	血液 2.0mL	(8) (27)	—	24時間	—	
不規則抗体	血液 6.0mL	(9) (27)	—	7日	—	
間接クームス	血液 6.0mL	(9) (27)	(-)	7日	—	
直接クームス	血液 2.0mL	(8) (27)	(-)	24時間	—	
血液型 Rh - Hr式	血液 2.0mL	(8) (27)	—	24時間	—	
血液型 ABO式亜型	血液 6.0mL	(9)	—	24時間	—	
転移酵素活性	血液 6.0mL	(9)	—	24時間	—	

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

分野	検査項目	検体採取量	採取容器	生物学的基準範囲 および臨床判断値	追加検査が 可能な日数	検体受入 不可基準	備考
細菌検査	血液	成人 10mL/ボトル	(24)	—	不可	—	1ボトルにつき10mL 以上採血しないこと 1回に2セット(4本の ボトル)採血を推奨
		小児 4mL/ボトル	(23)	—	不可	—	1ボトルにつき4mL 以上採血しないこと
	骨髓液	0.5mL以上	(17)	—	5日	—	
	髄液	1mL以上	(17)	—	不可	—	冷蔵不可
	穿刺液 (胸水、腹水、 関節液、灌流 液、ドレーン、 膿瘍、膿胞内容 物など)	1mL以上	(17)	—	5日	—	
	膿・分泌物 (皮膚、創部、 褥瘡、生殖器 など)	適量	(17) (20)	—	5日	—	淋菌を疑う場合は必 ず目的菌項目に入力 し、直ちに提出 (冷蔵不可)
	尿 (中間尿、 カテーテル尿、 腎盂尿など)	10mL以上	(18)	—	5日	蓄尿 バッグ尿 糞便混入	淋菌を疑う場合は必 ず目的菌項目に入力 し、直ちに提出 (冷蔵不可)
	胆汁 (PTCD胆汁等)	1mL以上	(17)	—	5日	—	
	便	拇指頭大 下痢便：1mL 以上	(18) (21) (25)	—	5日	生理食塩水 以外で採取 した浣腸便	・海外渡航歴の有無を 入力 ・疑いの菌名・病名が ある場合は目的菌項目、 コメント欄に必ず入力 ・目的菌がエルシニアの 場合はコメント欄に入力
喀痰	1mL以上	(21) (22)	—	5日	—	百日咳菌を疑う場合 は必ず目的菌項目に 入力	

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

細菌検査	一般細菌検査	咽頭粘液	適量	(20)	—	5日	—	—
		気管支チューブ	適量	(18) (21)	—	5日	—	—
		胃液	1mL以上	(17)	—	5日	—	—
		気管支洗浄液 (BALF含む)	1mL以上	(17) (18)	—	5日	—	百日咳菌を疑う場合は必ず目的菌項目に入力
		カテーテル先端	適量	(17) (21)	—	不可	—	乾燥を防ぐため、滅菌生理食塩水を少量添加し提出
		耳漏	適量	(19)	—	5日	—	—
		眼脂	適量	(20)	—	5日	—	—
		爪	適量	(17)	—	5日	—	目的菌が真菌の場合は目的菌項目に入力
		組織 (粘膜含む)	適量	(17) (18) (21)	—	5日	—	—
	抗酸菌検査	血液	1mL以上	(7)	—	不可	—	3種類同時に採血 (PCRの依頼が無い場合は9の採血管は不要)
			3mL	B-18 (BML)				
			3mL	(9) PCR用				
		骨髄液	1mL以上	(17)	—	不可	—	
	1mL		(9) PCR用					

さいたま市立病院
院内検査基準値一覧

2017年10月20日作成

分野	検査項目	検体採取量	採取容器	生物学的基準範囲 および臨床判断値	追加検査の 対応可能日 数	検体受入 不可基準	備考	
細菌検査	抗酸菌検査	喀痰	1mL以上	(21) (22)	—	不可	—	MAC-PCRは塗抹結果が ガフキー4号以下の場 合は依頼に関わらず 実施しない
		胃液	1mL以上	(17)	—	不可	—	MAC-PCRは塗抹結果が ガフキー4号以下の場 合は依頼に関わらず 実施しない
		便	拇指頭大 下痢便：1mL 以上	(18) (21) (25)	—	不可	生理食塩水 以外で採取 した浣腸便	便は小川培地での培 養のみ（液体培養は 実施しない）
		血液・骨髓液・ 喀痰・胃液・便 以外の検体	一般細菌に 準ずる	一般 細菌に 準ずる	—	不可	—	スワブにて採取する 場合は複数本を提出
	その他の細菌	便	拇指頭大 下痢便：1mL 以上	(18) (21) (25)	—	CD毒素・ 0-157直接 法は3日 それ以外は 当日中	生理食塩水 以外で採取 した浣腸便	ノロウイルス抗原検 査は以下のいずれか に該当する患者のみ 保険適用あり ①3歳未満の患者 ②65歳以上の患者 ③悪性腫瘍の診断が 確定している患者 ④臓器移植後の患者 ⑤抗悪性腫瘍剤投与 中の患者 ※入院患者は上記以 外でも病院負担で検 査可能
		尿	1mL以上	(18)	—	当日中	—	